



2024年5月30日

各位

会社名 サンヨーホームズ株式会社
代表者名 代表取締役社長 松岡 久志
(コード番号: 1420 東証スタンダード市場)
問合せ先 取締役専務執行役員 福井 江治
(TEL. 06-6578-3403)

中期経営計画策定に関するお知らせ

当社グループは、添付のとおり2027年3月期を最終年度とする中期経営計画を策定いたしましたので、お知らせいたします。

当社グループは、ビジョンステートメントとして「我々は“社会になくってはならない存在”でありつづけます。」、スローガンとして「人と地球がよるこぶ住まい」を掲げ、「住まい」と「暮らし」のお困り事をお客さまと一緒に解決し住まい方の変化にも常に身近で寄り添える一生のパートナーでありたいと考えております。

2050年脱炭素社会の実現に向けて、総合「住生活」提案企業として、地球環境の保全と人々の安全と安心を守る「エコ&セーフティ」な住まいづくりとお客さまの暮らしに役立つ様々なご提案、さらに社会のニーズに応える事業を通じて人生の新しい“よろこび”を創造し、社会に貢献する会社となる事を目標としております。

特に近年においては、社会・経済情勢の変化は激しく、また人々の価値観も多様になっております。7つの事業である戸建住宅事業・不動産ソリューション(旧賃貸・福祉住宅)事業・リフォーム事業・リニューアル流通事業・フロンティア事業・マンション事業・ライフサポート事業の更なる進化につとめると同時に、財務体質の強化を図り、持続的な企業価値の向上につとめてまいります。

【連結業績目標】

(単位: 百万円)

	2024年3月期 実績	2025年3月期 業績予想	2026年3月期 計画	2027年3月期 計画
売上高	45,860	53,000	58,000	65,000
営業利益	952	1,350	1,600	2,400
経常利益	935	1,200	1,500	2,300
親会社株主に帰属する 当期純利益	648	800	1,000	1,500

(注) 上記の予想は、本資料の発表日において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる場合があります。

以上

東証スタンダード (1420)



環境大臣認定
エコ・ファースト
企業



環境に良い仕様で
低炭素社会実現へ

サンヨーホームズ株式会社 中期経営計画



SANYO HOMES

2024年5月30日(木)

For the best life

P2:ビジョンステートメント

P3:コーポレートフィロソフィー

P5:事業ポートフォリオ

P6:サステナビリティ

P10:今後について

P11:資本・株式・財務の状況

P13:数値実績と計画

P16:2027年3月期に向けて

P17:事業ポートフォリオの詳細

P23:参考資料

サンヨーホームズのビジョンステートメント

ビジョン・ステートメント

我々は、
「社会になくってはならない存在」
でありつづけます。

サンヨーホームズは、「住まい」と「暮らし」のお困り事をお客さまと一緒に解決し、住まい方の変化にも常に身近で寄り添える、一生のパートナーでありたいと考えます。

地球環境の保全と人々の安全と安心を守る「エコ&セーフティ」な住まいづくりと、お客さまの暮らしに役立つ様々なご提案、さらに、社会のニーズに応える事業を通じて、人生の新しい“よろこび”を創造します。

スローガン

人と地球がよろこぶ住まい

「経営理念」 (Vision)

私たちは住まいづくりのプロとして、お客さまのウォンツを満たし、
「快適空間の創造」と「退屈しない人生の提案」
により、顧客満足の更なる向上を図る

「経営指針」 (Mission)

『For the best life』

～総合「住生活」提案企業～

「事業コンセプト」 (Value)

『エコ & セーフティ』

～環境・安心・安全～

「行動規範」 (Code of Conduct)

サンヨーホームズグループは、
「お客様満足の向上」を経営理念とし、
「クリーン」「誠実」「顧客指向」に
基づいた「行動規範」のもとオリジナルカルチャーを醸成し、人権の尊重、法令遵守の精神の徹底を図り、社会的倫理や良識に従い、より良い社会の構築と、誠実に社会責任を果たすことを目指して、積極的に行動します。

2セグメント 7つの事業区分

住宅事業

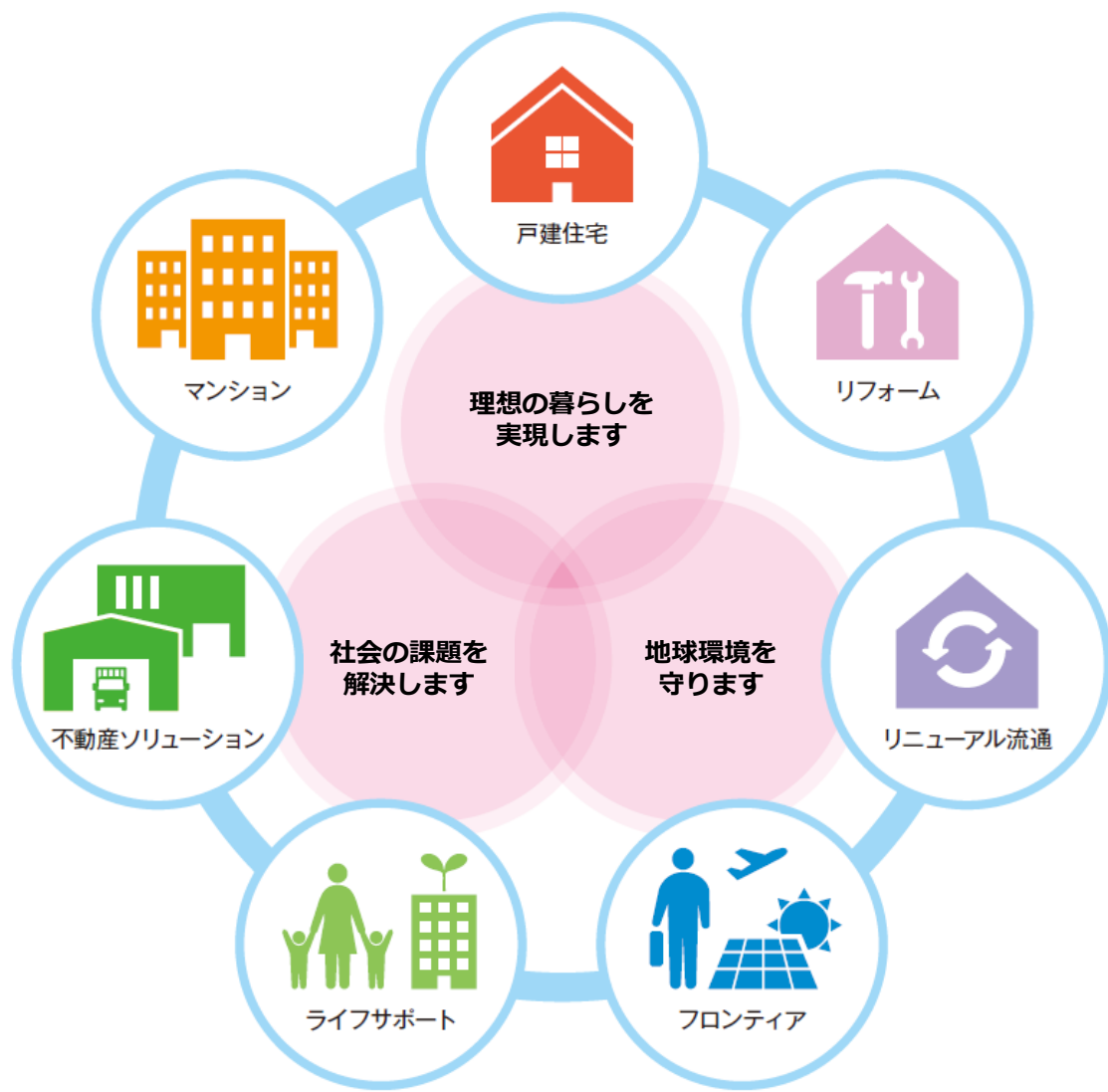
- 1 戸建住宅
- 2 不動産ソリューション
- 3 リフォーム
- 4 リニューアル流通
- 5 フロンティア

マンション事業

- 6 マンション

その他

- 7 ライフサポート



(詳細はP17~P22)

サステナビリティ①

ESG経営に関する方針と課題

サステナビリティ方針

当社グループは、「人と地球がよるこぶ住まい」をスローガンに、“住まい”と“暮らし”にまつわるお困り事を、お客様と一緒に解決し、人々の安全・安心と地球環境保全に努め、社会に貢献する会社を目指しております。

マテリアリティ（重要課題）

総合「住生活」提案企業として、下記のマテリアリティ（重要課題）を特定しました。

項目	マテリアリティ	取組み	
Environment (環境)	地球環境への貢献	製品を通じた社会貢献	ZEH化の推進 RCCM(リニューアールサイクル・カーボンマイナス)住宅の推進 再生可能エネルギーの推進
		当社のCO2等削減	再生可能エネルギーの推進 デコ活の推進
	安全・安心 (セーフティ)	製品を通じた社会貢献	『水害に負けない安心の暮らし』 顧客満足の向上 地方創生（地域活性化）
		人的資本	人的資本への投資 DE&I(ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン)の推進 従業員エンゲージメント向上 人材の育成、確保 健康経営
Governance (ガバナンス)	ブランド価値の向上	高品質で価値の高い 製品・サービスの提供	品質・技術力・顧客サービスの向上 DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進
		企業価値の向上	資本効率の高い経営

サステナビリティ②

サンヨーホームズの2050年脱炭素社会の実現に向けた取り組み

これまで、

軽量鉄骨プレハブ住宅メーカーとして先駆けて、2016年にZEHを標準化し、2019年に上位性能であるZEH+(ゼッチプラス)に取り組み、2022年にはZEH水準を上回る基準の標準化を行い、2023年に「LCCM住宅水準モデル※1」として、政府が目指す2050年脱炭素社会の実現に向けた施策を前倒して実現



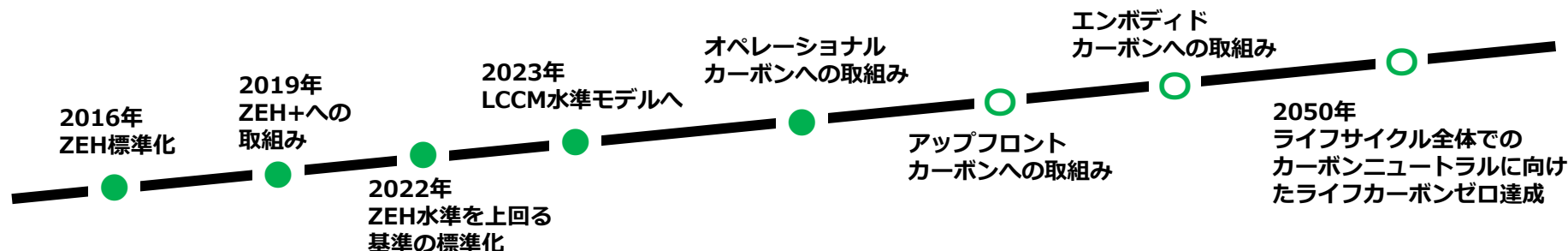
今後の取り組みとしては、

LCCM住宅認定や普及に留まらず、国際的な枠組みである2050年ライフサイクル全体でのカーボンニュートラルに向けた対策として、設備機器の開発や見直しによる運用時のオペレーショナルカーボンの削減、資材調達から製造・輸送・建設段階におけるアップフロントカーボンや運用・改修・解体時を含めたエンボディドカーボンの削減、これらに部品やエネルギーの再利用も含めた全体のホールライフカーボン対策に向けた取り組みも積極的に推進

優れた省エネルギー住宅を表彰する制度「ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー2023」において、戸建住宅商品「life style KURASI' TE (LCCM住宅水準モデル※1)」が「特別優秀賞」を受賞、企業表彰として「省エネ住宅特別優良企業賞」を受賞、それに加え「秋元賞(審査員賞)」を受賞し、あわせてトリプル受賞



サンヨーホームズの取り組みと今後の対策



※1 LCCM住宅水準モデルとは、LCCM認定水準を満たす住宅として当社が呼称したものであり、流通や呼称等で第三者にLCCM住宅として提供する場合には、別途、一般財団法人住宅・建築 SDGs推進センター (IBECs) によるLCCM住宅認定を受ける必要があります。

サステナビリティ③

人的資本について①

従業員向けインセンティブ・プランの導入

従業員に対するインセンティブ・プランを導入することで、従業員エンゲージメントを高めるとともに、従業員の帰属意識、経営参画意識を持たせ、当社業績や株価上昇への意識を醸成することにより、当社の中長期的な企業価値向上を図る。

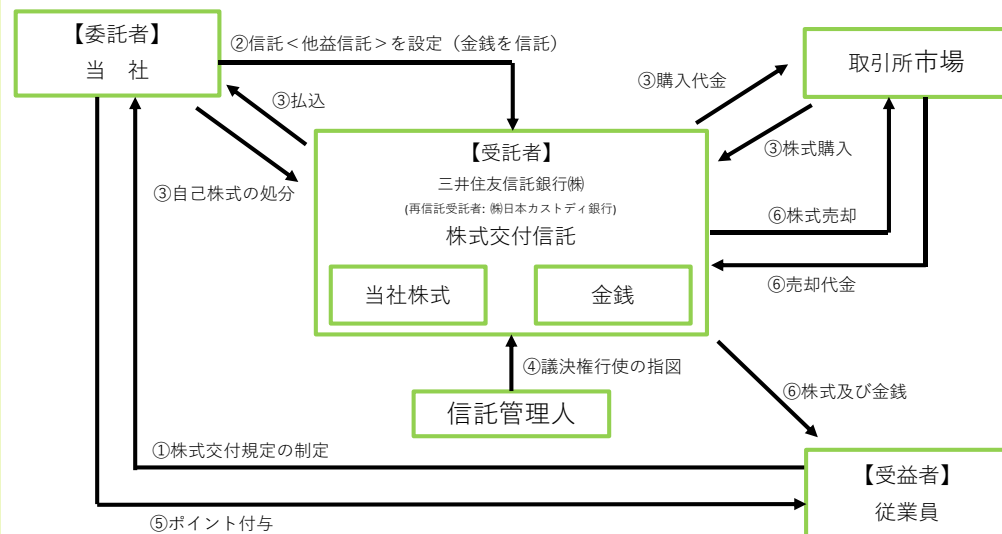
健康経営優良法人

従業員の健康増進を図り、心身共に健康で安全・安心・快適な職場環境を実現することと、働き甲斐のある職場環境を実現することによって組織のパフォーマンスを最大化し、サンヨーホームズのめざすCSV経営を実践する。



2024
健康経営優良法人
Health and productivity

【インセンティブ・プラン制度の仕組みの概要】



【主な効果検証指標】

健康課題	設定KPI	実績値			目標値
		2021/3期	2022/3期	2023/3期	2029/3期
健康管理の充実	ストレスチェック受診率	84.70%	84.70%	83.10%	95%以上
	喫煙率	30.90%	28.70%	29.00%	25%
	運動習慣率	24.80%	25.90%	29.00%	30%
	健康増進アプリ登録率	—	—	17.00%	25%
総労働時間の削減	有給取得率	42.60%	45.60%	50.20%	65%

サステナビリティ④

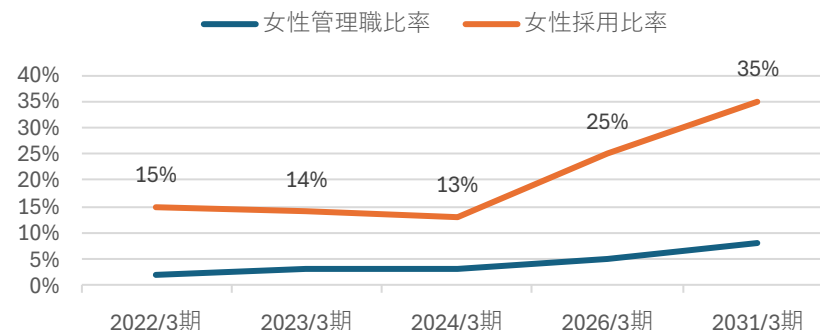
人的資本について②

人材の多様性の確保を含む人材育成に関する方針

多様性確保については、当社グループでは社内に異なる経験・技能・属性が存在することにより多様な視点や価値観が生まれることは、会社の持続的な成長を確保する上での強みとなるとの認識に立ち、社内における女性活躍、様々な職歴のキャリア採用等の施策を通じて多様性の確保を推進しています。

管理職登用については、能力・実績等を評価し、性別・国籍等にとらわれず評価しております。しかし、現時点では女性の管理職比率は十分でないとの認識しております。外国人については、当社の事業領域が国内の建築、不動産が中心であり管理職登用の実績はございませんが、正社員や技能実習生として採用は行っております。今後についても、中核人材の登用等における多様性の確保に向けて、人材育成の強化、働き方改革、健康経営の推進等、様々な施策を推進してまいります。

	実績			目標	
	2022/3期	2023/3期	2024/3期	2026/3期	2031/3期
女性管理職比率	2%	3%	3%	5%	8%
女性採用比率	15%	14%	13%	25%	35%



サンヨーホームズの今後について

資本・株式・財務の状況①

①資本コストや株価に関する考え方

当社グループは、総合「住生活」提案企業として「住まい」と「暮らし」のお困り事をお客さまと一緒に解決し、住まい方の変化にも常に身近で寄り添える一生のパートナーでありたいと考え、スローガンである「人と地球がよるこぶ住まい」、事業コンセプトである「エコ&セーフティ」を実践し、お客様に寄り添いながら地球環境の保全に努め、過去からの変革を実行し持続的成長を図っております。現在7つの事業を中心に展開をしており、全事業での収益率向上とともに、主力事業の1つであるマンション事業においては先行投資期間が長く、また金額的にも多額となり、各種比率等に与える影響も大きいため、これまで以上に資本コストや株価等を意識し、同時に財務の健全性にも配慮しつつ、新規マンション投資や新規事業への投資等により、収益性を向上させるとともに、IR活動を強化し、ROEを向上させ、PBR（株価純資産倍率）等を改善してまいります。

②指標からの課題

- ・直近期については資本コストを上回る収益性を確保
- ・ROE水準についても、2020年以降低位
- ・PBRについても、0.5~0.6前後で推移
- ・売買高についても、2021年以降低位
- ・流通株式比率が上場維持基準25%を上回る水準となった

③今後の取組み

- ・収益性の向上⇒各種生産性を向上させ、
強固な利益創出(=顧客満足創出)体制の構築
- ・ROEの改善⇒売上総利益率、総資産回転率の向上
- ・IR活動の拡充⇒非財務情報等も含む情報開示を
拡充するとともに、積極的IR活動の実施
- ・配当⇒安定配当は継続、高利益水準時にも配当性向20~30%を確保
- ・自己株式の活用⇒人的資本投資として、
従業員株式報酬制度を導入し、従業員エンゲージメントの向上

指標	2019/3期	2020/3期	2021/3期	2022/3期	2023/3期	2024/3期
ROE (%)	5.5	2.1	3.0	2.0	-1.7	4.4
PER (倍)	10.51	20.45	16.71	25.36	-32.4	12.8
PBR (倍)	0.57	0.40	0.51	0.55	0.55	0.56
配当性向 (%)	32.3	83.9	53.2	84.8	-	42.9
1株当たり配当金(円)	25	25	25	25	25	25
株価 (円) *1	814	609	785	748	717	745
時価総額 (億円) *1	100	65	87	87	80	83
売買高 (千株)	8,256	6,063	2,828	3,062	3,027	2,887
流通株式比率 (%) *2	-	-	-	-	26.4	30.3

*1 株価、時価総額については各年度3月末営業日終値。時価総額は自己株式除く。

*2 流通株式比率は東京証券取引所の新基準により算出（2023年3月期より）。

資本・株式・財務の状況②

④ 自己資本の強化

健全性を確保するとともに、適正な財務レバレッジ水準を維持し、自己資本の充実を図る。

- ・ 適正な財務レバレッジ水準の維持
- ・ 自己資本の安定的な向上
- ・ 資金調達手段の多様化
- ・ 有利子負債のコントロール

(単位：%)

	2019/3期	2020/3期	2021/3期	2022/3期	2023/3期	2024/3期
自己資本比率	32.2	28.5	32.2	32.1	29.1	32.1
有利子負債/売上高比率(注)	40.5	50.5	43.7	38.5	53.1	36.8

(注)当社独自の指標で50%以下を目指す。

⑤ 配当政策

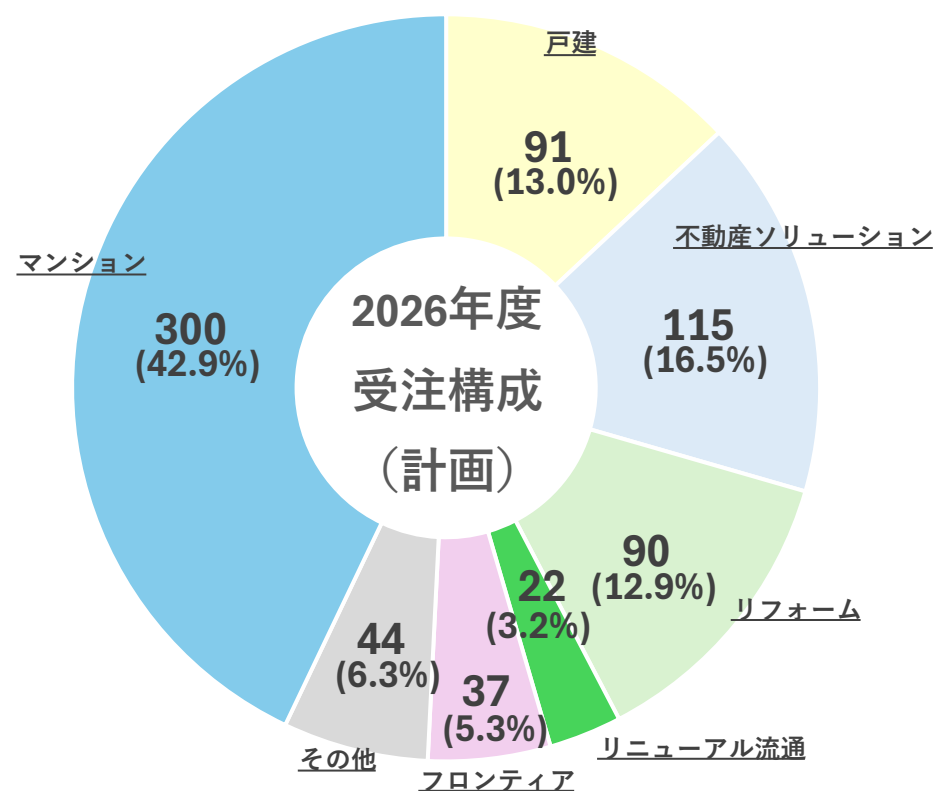
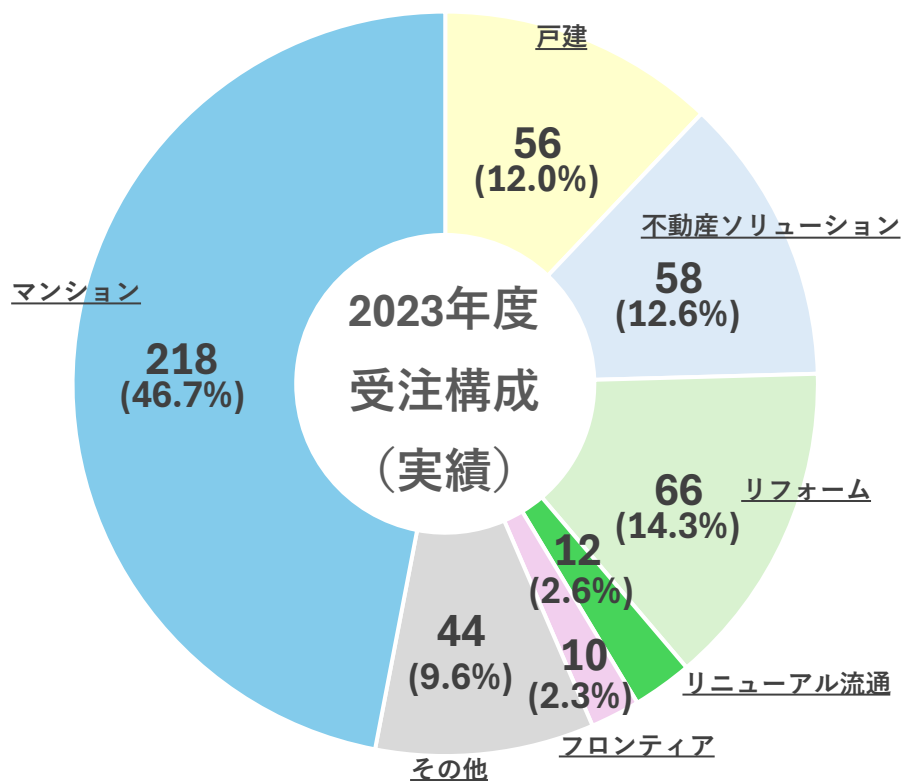
株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題として認識しており、将来の企業成長と経営体質強化のための内部留保を確保しつつ、株主の皆様へ継続的に配当を行うことを基本方針とする。

- ・ 適正な財務レバレッジ水準の維持
- ・ 企業成長と経営体質強化の内部留保
- ・ 継続的な配当を実施
- ・ 自己取得等を含めた株主還元総額の向上

	2019/3期	2020/3期	2021/3期	2022/3期	2023/3期	2024/3期
1株当たり配当金(円)	25	25	25	25	25	25
1株当たり利益(円)	77.46	29.78	46.98	29.49	-22.15	58.31
配当性向(%)	32.3	83.9	53.2	84.8	-	42.9
配当利回(%)	3.07	4.11	3.18	3.34	3.49	3.36

受注実績・計画

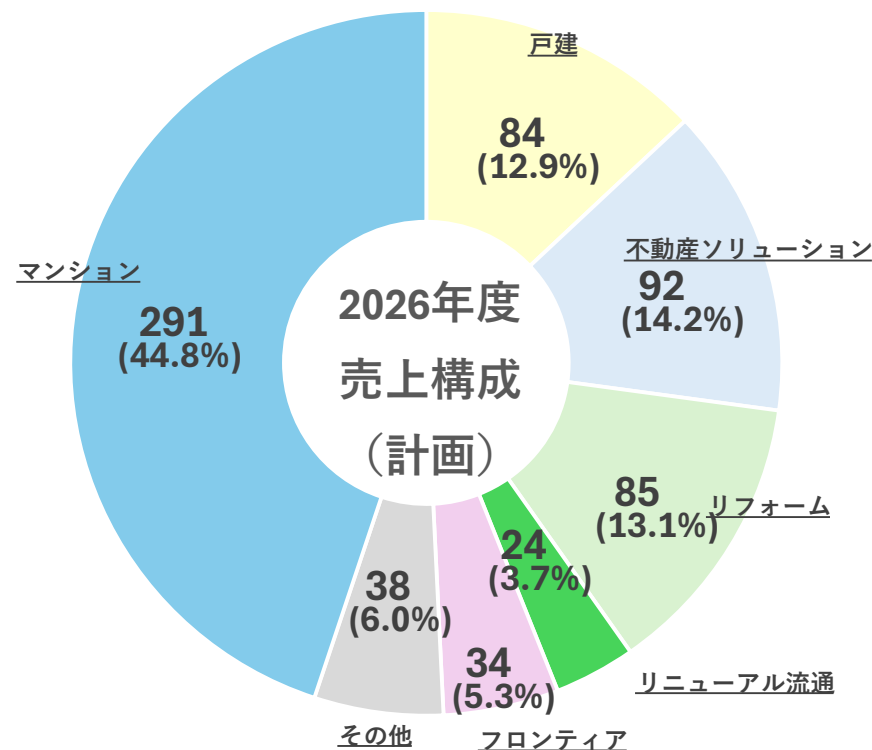
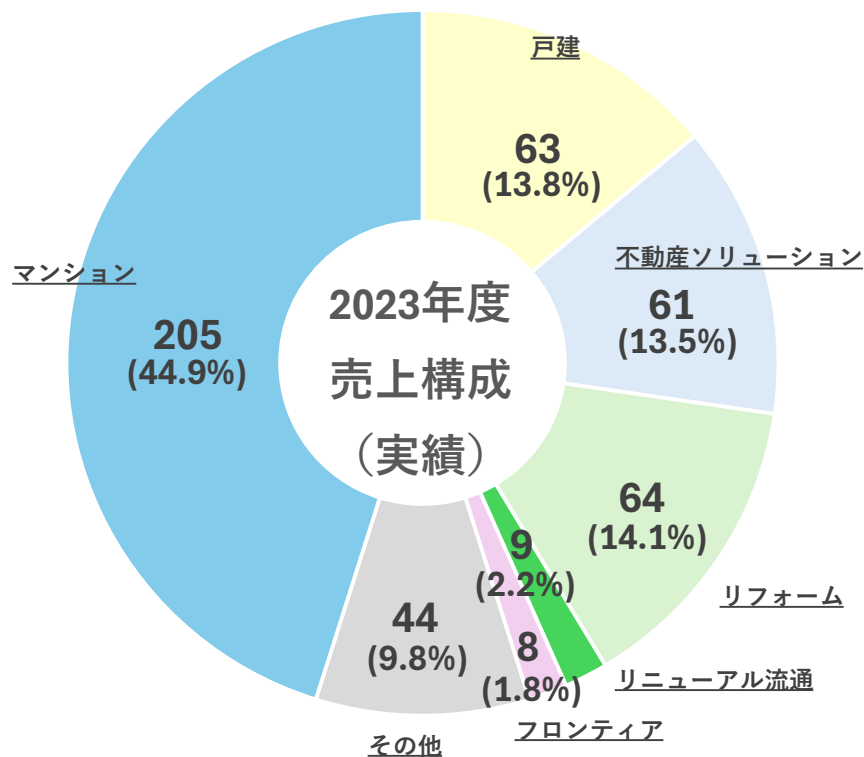
	実績			計画		
	2022/3期	2023/3期	2024/3期	2025/3期	2026/3期	2027/3期
戸数 (単位: 戸)	1220	1000	809	947	959	1036
金額 (単位: 億円)	508	437	468	590	660	700



連結損益実績・計画

(単位：億円)

	実績			計画		
	2022/3期	2023/3期	2024/3期	2025/3期	2026/3期	2027/3期
売上高	511	409	458	530	580	650
営業利益	5	-1	9	13	16	24
経常利益	5	-1	9	12	15	23
当期純利益	3	-2	6	8	10	15



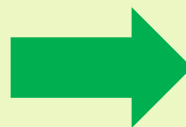
ROE・PERの状況

	2019/3期	2020/3期	2021/3期	2022/3期	2023/3期	2024/3期
ROE(%)	5.5	2.1	3.0	2.0	-1.7	4.4
PER(倍)	10.51	20.45	16.71	25.36	-32.40	12.80
東証上場企業	9.43	6.43	7.01	9.35	9.10	※ 9.70
プライム (東証一部)	9.32	6.57	7.15	9.35	9.24	※日経予測
スタンダード (東証二部)	18.85	2.01	2.65	5.57	6.64	

PBRの改善

2027年3月期当期純利益
2027年3月期一株当たり利益
2027年3月期ROE

15億円
135円



PBR1.0以上に改善

10.0%を目指す

2027年3月期に向けて

野洲駅南口周辺整備官民連携事業 (2024年3月事業者決定)

事業コンセプト「Well-being Future」



総敷地面積：10,818.48m²

Aブロック

分譲マンション 102戸
シニアマンション 110戸
ホテル 180室

Bブロック

商業施設 (食品スーパー 他)

Cブロック

市民広場

(※建設予定施設)



売上規模
約150億円

2027年4月
まちびらき

(※予定)

大規模開発事業実績

① 「大日駅前 複合再開発事業」

(※2007年～現在)

総開発面積：4.8ha
事業規模 約520億円
ファミリー向けマンション 1,459戸
シニア向けマンション 159戸他

② 「サンフォーリーフ タウン宝塚」

総開発面積：47,320.88m²
事業規模 約130億円
ファミリー向けマンション 188戸
戸建住宅 57戸
商業施設、保育園等

③ 「サンフォーリーフ タウン桜ノ宮」

総開発面積：6,974.23m²
事業規模 約110億円
ファミリー向けマンション 183戸
シニア向けマンション 104戸
保育園・リハビリステーション等

事業ポートフォリオの詳細

住宅事業①

1.戸建住宅

営業生産性の向上

①ZEH水準を上回る高性能な住まいを標準化

	2022/3期	2023/3期	2024/3期	目標
ZEH比率	93%	100%	97%	90%

※一般社団法人環境共創イニシアチブへの届出数値

②W-eco design (ダブル・エコ・デザイン) の提案

- ・ ecology (環境性) と economy (経済性) を両立した必要なものだけに価値を見出す設計提案

③戦略エリアでの紹介促進、契約率の向上

オリジナルセールライン (OSL) として組織化

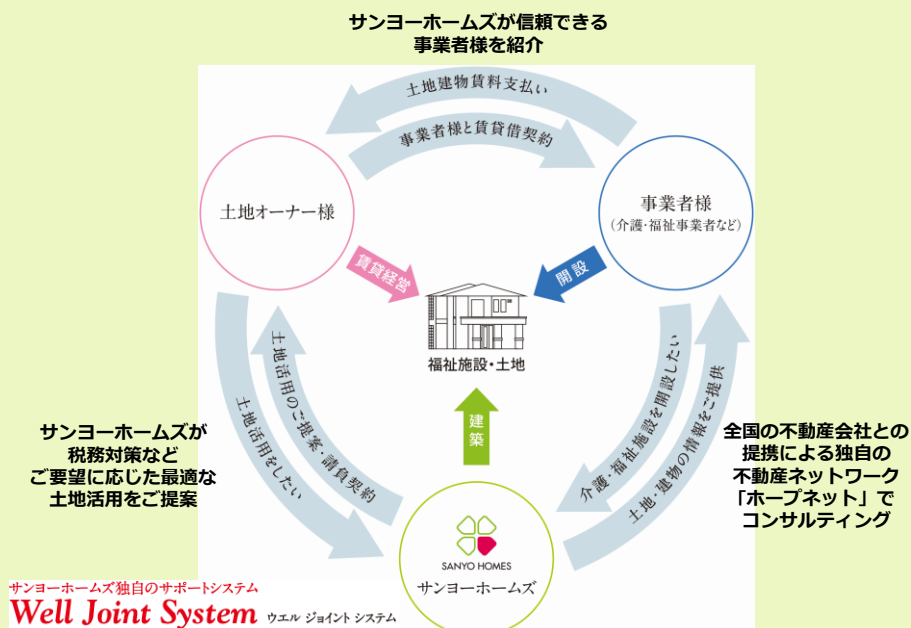
- ・ アドバイザリースタッフ (AS)
- ・ ホープメイト
- ・ 暮らしラクラク館
- ・ リアルモデルハウス「オーナーズクラシテ」

2.不動産ソリューション (旧: 賃貸・福祉住宅)

パートナーシップの形成と

オリジナルな提案で差別化

- ①金融機関、企業、士業との連携
- ②事業者の拡大
- ③軽量鉄骨プレハブ化率向上
- ④サンヨーホームズ独自のサポートシステム「Well Joint system」で土地活用をサポート



住宅事業②

3.リフォーム

災害が来る前に、早期復旧に備えた対策

- ① 「すぐすむ我が家」の提案
- ② 既存住宅の性能向上リノベーション
- ③ 「住まいのドック」

4.リニューアル流通

スクラップ&ビルドからストック活用へ

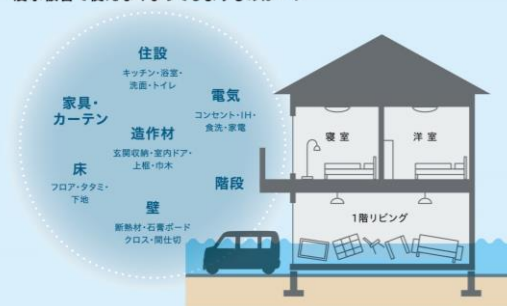
- ① RCCM住宅提案の推進
- ② 買取再販に注力
- ③ サン住まいリング会員の強化

5.フロンティア

これまで培ったノウハウを 活かして社会に貢献

- ① 躯体OEM
軽量鉄骨プレハブシステム
「GSフレームシステム」の提供
- ② エコエネルギー
オリジナル太陽光発電システムパッケージの提供
- ③ カーペンタースクール
社員大工技能者の育成

浸水被害で使えなくなってしまうものは…？



事前にできる水害対策があります！

床下だけの浸水でも消毒、乾燥、水没機器の交換などが必要ですが、床上まで浸水するとさらに被害範囲は広がり、日常生活の回復に時間がかかります。当社の水害対策は万一床上まで浸水しても被害を抑えられ、早期復旧しやすい工夫をご提案します。

床上浸水対策

床上浸水しても被害を最小限にする工夫

被害の程度、復旧の範囲を抑える

再利用などで早期復旧できる

床下浸水対策

床下や敷地に浸水させない工夫

空き家を減らしサステナブルな住宅循環を実現する



リニューアルサイクル・
カーボンマイナス住宅



住宅事業③

住宅商品開発

水害に対応した、プレハブ住宅の躯体とほかの構造体（RC）を融合したハイブリッド工法と早期復旧に備えたリフォーム技術

『水害に負けない安心の暮らし』

浸水の可能性が高い1階をRC（鉄筋コンクリート）造の打ちっ放し仕上げにて『耐水化』することにより、早期に復旧ができ、浸水による災害廃棄物の発生を抑えることで環境に貢献します。浸水の可能性が低い2階以上の部分に居住空間を集約することにより、災害時、災害後も普段通り使えるだけでなく、避難が難しい方にとっては在宅避難が容易となり、災害時における「自助」となります。1階の空間は、日常時にはRC造の優れた遮音性を活かした、ご自身の趣味を嗜むとともに、災害時には地域交流の場として使うことで「共助」へと繋がります。

『すぐすむ我が家』

浸水被害を受けると、住宅の片付け、廃棄、消毒等に加え、行政の支援を受けるための罹災証明の取得等、リフォーム着手までに労力と時間がかかります。そこで万一浸水しても水に強い材質の断熱材や床下地の使用、乾かすことで再利用できるキッチン等の住宅設備を設置、浸水時の高さを想定して断熱材の貼り分け、またコンセントを高位置に設置することなどで、より早く日常生活を確保することができこれらにより、住まわれる方の精神的、経済的負担を軽減することを目指しています。さらにはリフォーム工事の際に『ついでにできる水害対策工事』としてご提案することで、経済的負担を抑えながら水害対策が可能となります。

レジリエンスアワード 2024受賞

↓『水害に負けない安心の暮らし』
浸水からの早期復旧により被害を抑える

Concept

- 復旧が早い
- 自助・共助
- 災害に正面から向き合う
- 人・地域の交流

○ 浸水対策のある住まい

× 浸水対策のない住まい

『すぐすむ我が家』 → 早期の復旧に備えた水害対策リフォーム

※本商品は想定される災害リスクを低減する提案であり、当社がおお客様の生命・財産を保証するものではありません。緊急時の避難誘導がある場合は、その指示に従って行動してください。

6. マンション

オリジナルビジネスの確立と 商品の付加価値向上

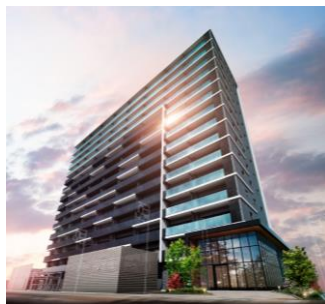
全国供給211物件 1万8,652戸の信頼と実績

※2024年3月末現在（分譲物件を含む、リノベーション物件を除く）

- ① プロポーザル入札への積極的参入
- ② 建替え対象マンションへの積極的な取り組み
- ③ ZEH-M Orientedの推進

2024年3月期竣工2棟 2025年3月期竣工予定4棟

《 ZEH-M Oriented採用物件 》



サンメゾン香里園駅前
大阪府寝屋川市 153戸

ザ・サンメゾン大濠公園
福岡市中央区 23戸



サンメゾン徳重
名古屋市緑区 37戸

創エネルギー

太陽光発電システム/
エネルギーの見える化

省エネルギー

断熱対策/オール電化/
複層ガラス/LED照明

安全

耐震性/劣化対策/
耐久性を高める構造/維持管理への配慮

安心

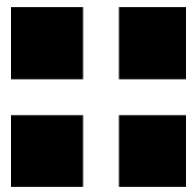
防犯優良マンション認定/緊急地震速報/
セキュリティシステム

《事業コンセプト》

環境・安全・安心



《サンヨーホームズのマンションシリーズ》



SAN
MAISON
ファミリー向けマンション
「サンメゾン」シリーズ



SAN
RENO
既存のマンションや社宅等を
リノベーション
「サンリノ」シリーズ



SAN
MINE
都市型コンパクトマンション
「サンマイン」シリーズ



SAN
Four-Leaf
TOWN
大規模・複合町づくり開発
「サンフォーリーフタウン」シリーズ



安心のシニアマンション
「サンミット」シリーズ

THE SANMAISON

サンメゾンの最上級クラス「ザ・サンメゾン」シリーズ

その他事業

保育園

- ・認可保育園（1園）
- ・小規模保育園（26園）
- ・企業主導型保育園（3園）
（内、運営受託1施設）
- ・一時預かり保育（1施設）
- ・学童保育（1施設）



介護・デイサービス

- ・“寄り添い”ロボット
- ・健康サロン サンアドバンス（3施設）
- ・ケアプランセンター（1施設）



マンション管理（187組合）

- ・事務、建物、設備管理業務
- ・管理員業務、コンシェルジュサービス



地方創生

- ・和歌山プロジェクト
- ・「SAN・シェアオフィス日生」



内閣府「SIPプロジェクト」

- ・戦略的イノベーション創造プログラム第3期/
人協調型ロボティクスの拡大に向けた基盤技術、ルールの整備

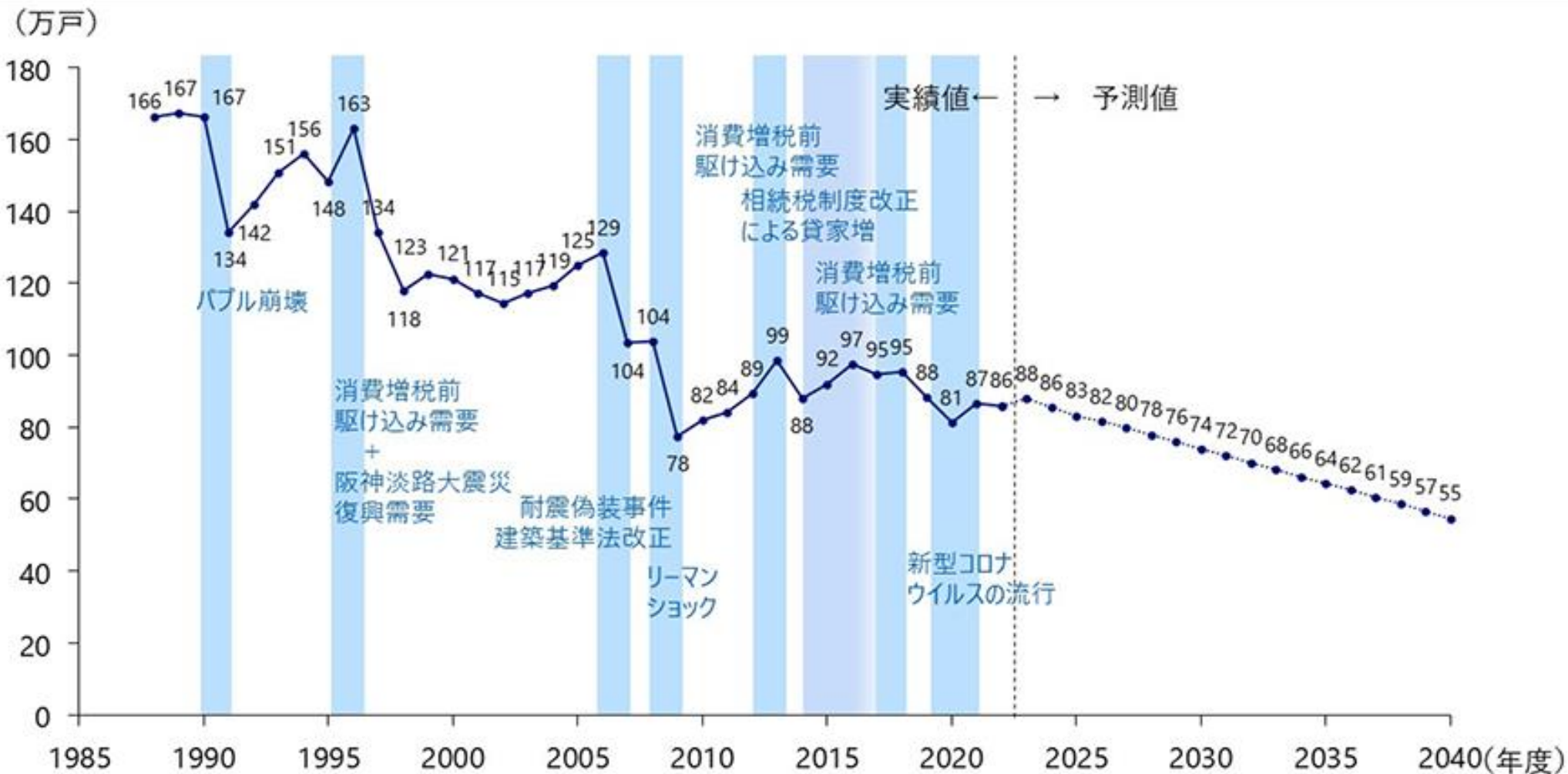
〈役割：ロボットやセンサーが導入しやすい住空間の設計〉

- ・新築住宅における将来を見越した設計準備
- ・既存住宅の改修手法の確立（空き家を減らし社会課題解決）
- ・住宅展示場を活用した検証の場づくり



參考資料

新設住宅着工戸数の実績と予測

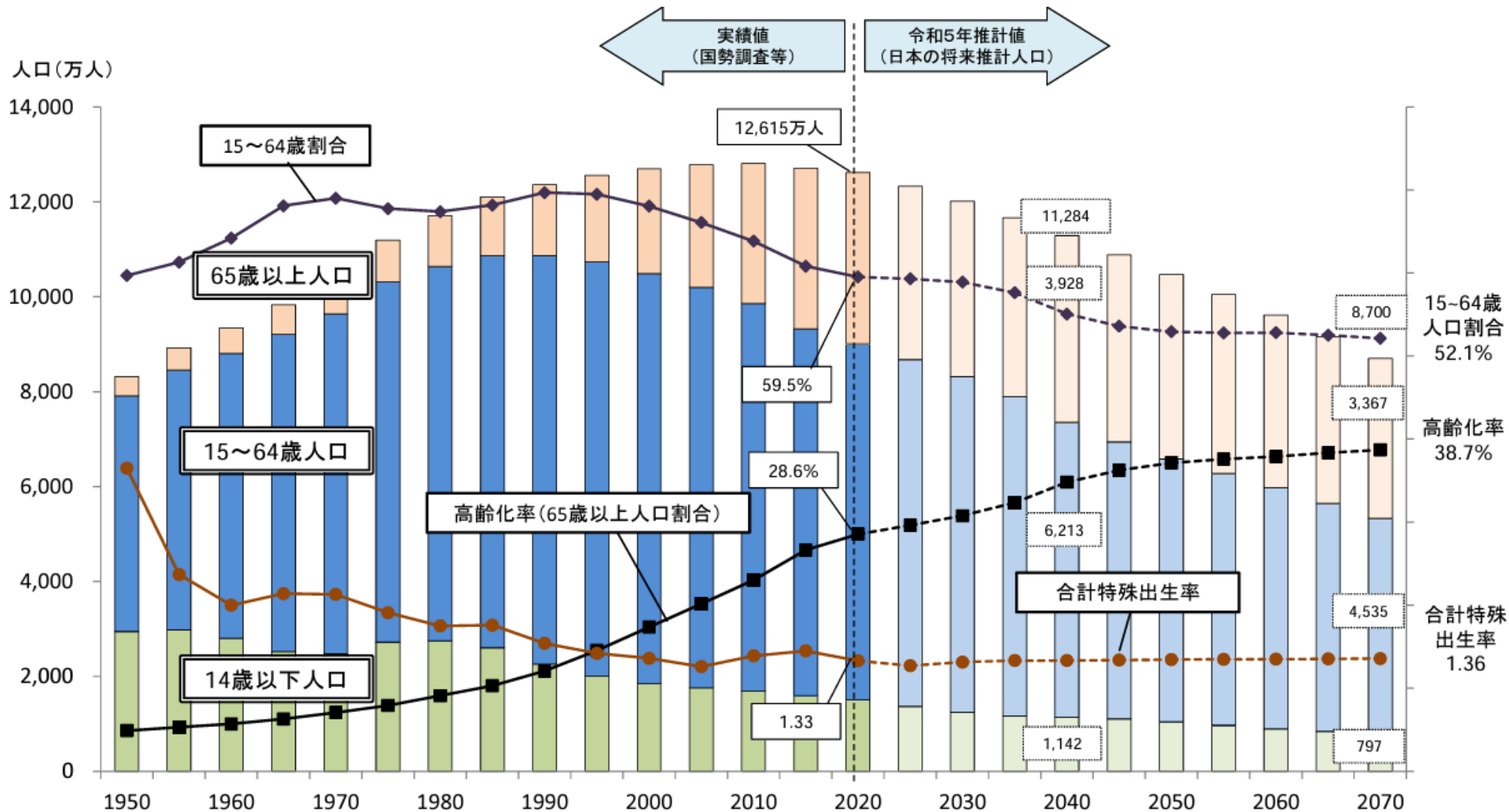


出所) 実績値は国土交通省「住宅着工統計」より。予測値はNRI。

野村総合研究所より

https://www.nri.com/jp/news/newsrelease/lst/2023/cc/0622_1

人口予測



(出所) 2020年までの人口は総務省「国勢調査」、合計特殊出生率は厚生労働省「人口動態統計」、2025年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(令和5年推計)」「(出生中位(死亡中位)推計)将来推計人口(令和5年推計)の概要-厚生労働省より

- 本資料にはサンヨーホームズ株式会社(以下、弊社)の業績、戦略、事業計画などに関する将来的予測を示す記述および資料が記載されております。
- これらの将来的予測に関する記述および資料は過去の事実ではなく、発表時点で入手可能な情報に基づき弊社が判断した予測です。
- また経済動向、他社との競合状況などの潜在的リスクや不確実な要因も含まれています。その為、実際の業績、事業展開または財務状況は今後の経済動向、業界における競争、市場の需要、その他の経済・社会・政治情勢などの様な要因により、記述されている将来予測とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。



【本資料及び当社IRに関するお問い合わせ先】
サンヨーホームズ株式会社 経営管理本部 経営管理部
TEL 06-6578-3405
URL <http://www.sanyohomes.co.jp/>